

■ 4-1. 報告〈事業創発・事業支援〉

□ 受託事業：「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」(学び直し塾)

地域活性化プランナーの学び直し教育推進プログラム

滋賀大学 地域連携センター 特任准教授¹ 阿部 圭宏

1. はじめに

本学が平成18年度から県内自治体と「淡海地域政策フォーラム」を組織し、分権時代にふさわしい行政職員の学び直し塾を開始していたことをベースに、文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に応募し採択され、平成19年度から「地域活性化プランナー学び直し推進プログラム」として、3年間取り組むこととなり、平成21年度が最終年度となった。

本プログラムは、これからの地域ガバナンスの中核として期待される行政職員、NPO職員、社会的市民の地域政策の立案能力向上を目的として、実践的な教育研修を行うものであり、本稿では、最終年度である平成21年度の本プログラムの実施状況について報告するとともに、本プログラム終了後についても触れることとする。

2. 実施プログラムの特徴

本プログラムの構造は、次の3点にまとめられる。

(1) 講義とワークショップの組み合わせ

政策科学の最新理論を講義形式で提供した後、3つのグループに分かれ、具体的なテーマでのワークショップを実施し、テーマに基づく政策案を立案する。立案政策案の実現能力向上のためのプレゼンテーションを行い、最終修正を行って、公開のシンポジウムで報告し、多くの人々と意見交換する。

なお、平成21年度のワークショップのテーマは、「協働(地域福祉)」「ニューパブリックマネジメント(人を伸ばす自治体経営)」「地域ガバナンス(里の再生)」を設定するとともに、現場感覚を体感するための現地視察研修(湖南市)を実施した。

(2) 認定委員会による資格認定

「地域活性化プランナー認定委員会」を設け、本プログラム修了者に対し「地域活性化プランナー」として資格認定(履修証明)を行う。

(3) 外部評価

「外部評価委員会」を設けて、プログラム修正などを行う。平成21年度は3年間の本プログラムの総合評価を行ってもらった。

3. 平成21年度実施成果

【1】平成21年度実施プログラム

表1のとおり

¹ 10.5月27日～ 滋賀大学 地域連携センター 客員准教授

【2】担当教員

山崎 一眞 〈滋賀大学 産業共同研究センター 教授／地域連携センター センター長／学び直し塾 塾長〉
 阿部 圭宏 〈滋賀大学 地域連携センター 特任准教授／学び直し塾 副塾長〉
 北村 裕明 〈滋賀大学 経済学部 教授〉
 石井 良一 〈滋賀大学 地域連携センター 特任教授〉
 宗野 隆俊 〈滋賀大学 経済学部 准教授〉
 北詰 恵一 〈関西大学 環境都市工学部 准教授／滋賀大学 産業共同研究センター 客員研究員〉
 柴田 祐 〈大阪大学 大学院 工学研究科 助教〉
 今井 久人 〈滋賀大学 地域連携センター 客員研究員〉

【3】受講生及び地域活性化プランナーの認定

包括協力協定締結自治体などへの参加の呼びかけ、NPO等への公募を行った結果、受講生は25名（自治体職員19名、NPOスタッフ5名、社会的市民1人）であった。また、聴講生（学生）2名が加わり、NPOスタッフ等も加わったワークショップでは、議論が深まったといえる。

このうち、24名を地域活性化プランナーに認定（1名は途中でリタイヤし、聴講生1名を修了生とした）。

4. 外部評価結果及び受講生からの評価

【1】外部評価結果

外部評価委員をお願いした学識経験者には、実際、成果発表の場であるシンポジウム（1月23日開催）へ参加していただくとともに、外部評価委員会（1月28日開催）で評価をいただいた。委員会には、講師陣も加わり評価を受けた。

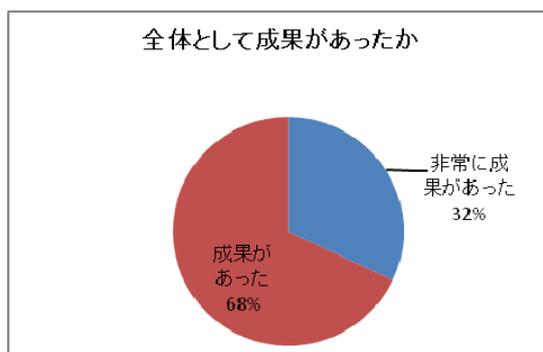
全体として、安定して運営されている点が高い評価を受けた。自治体との組織的な連携がうまくいっており、プログラムの基準となる形はできあがっているという評価を受けた。

また、本プログラムが平成21年度で終了し、次年度以降新たな形での本プログラムの実施をしていくという方針が示されたことに対し、大学独自で取り組むことに対して期待を持っていただいた。その上で、大学内での理解や支援の獲得、学生を受け入れる仕組み、修了生の組織化など、今後に向けた提案をいただいた。

【2】受講生からの評価

プログラム第13回終了後に、受講生（聴講生を含む常時出席の26名）を対象に、本プログラムについてのアンケートを実施した。授業の回数、難易度、課題やレポート等の作業量、本年度初めて実施した現地視察研修への評価、成果等について率直な意見が寄せられた。

成果については下記グラフのように、すべての受講生が「成果があった」と評価している。



◀ 授業風景 ▶



5. 今後の取組み

「学び直し塾」に対する参加団体の評価が高く、応分の負担のもとでの継続を望む声も多かったことから、継続のための学内手続きを行い了解が得られた。参加団体にも予算化をお願いし、講師陣と必要経費の目途が立った。次年度は、5月開講、12月終了を基本スケジュールとし実施する。

修了者(地域活性化プランナー)の社会での活躍、より一層の研鑽を促すため、同窓生情報交換システムの構築や交流、受講生の支援参加などを実施する。

また、成果をまとめた本の出版を検討する。

【 表1 平成21年度実施プログラム 】

	日 程	講 義 内 容	担 当	場 所
第 1 回	2009 年 6/11	開校式(オリエンテーション) 彦根キャッスルホテル	全員	彦根
第 2 回	6/25	政策科学のアプローチ <理論編>	山崎	大津
第 3 回	7/9	政策分析の手法(1)公共経済と統計情報 <理論編>	北詰	大津
第 4 回	7/23	政策分析の手法(2)政策過程分析 <理論編>	宗野・阿部	大津
第 5 回	8/6	分権社会における地域政策の課題 <理論編>	北村	大津
第 6 回	8/20	中間レポート発表	全員	大津
第 7 回	8/28-29	視察研修会 (福祉施設視察、市長講演会、交流会)	全員	湖南
第 8 回	9/10	政策分析・事例研究 1 <実践編>	全員	彦根
		実践課題 1)協働「地域福祉」	北村・宗野	
		実践課題 2)ニューパブリックマネジメント	石井・阿部	
		実践課題 3)地域ガバナンス「里の再生」	山崎・柴田	
第 9 回	9/24	政策分析・事例研究 2 <実践編>	全員	彦根
第 10 回	10/8	政策分析・事例研究 3 <実践編>	全員	彦根
第 11 回	10/22	政策分析・事例研究 4 <実践編>	全員	彦根
第 12 回	11/5	政策分析・事例研究 5 <実践編>	全員	彦根
第 13 回	11/19	政策分析・事例研究 6 <実践編>	全員	彦根
第 14 回	12/3	政策提言案のプレゼンテーション <理論編・実践編>	全員	彦根
第 15 回	2010 年 1/23	修了式・シンポジウム 八日市アピア 多目的ホールにて	全員	東近江

[講義会場] 彦根 : 大学サテライト・プラザ彦根 (JR彦根駅前 平和堂アル・プラザ彦根6F)

大津 : 滋賀大学 大津サテライト・プラザ (JR大津駅前 平和堂アル・プラザ大津5F)